

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)		授業形式										
E142H018		天文学 (Astronomy)																	
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員													
選択	2	3	教育学部			氏名 小西 美穂子 E-mail mkonishi@oita-u.ac.jp 内線 7336													
授業の概要	天文学の基礎的内容として、我々の住む地球を代表した惑星、太陽をはじめとした恒星、それらの外に広がる銀河宇宙などについて学習する。科学的な視点で、天文学の基本的な物理現象を説明できるように理解を深める。																		
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
目標1 地球を取り巻く環境として、宇宙に存在する天体の多様性が説明できる																			
目標2 宇宙の構造をさまざまなスケールで比較できる																			
目標3 科学的な見方や考え方を養う上で、自然を総合的に関連づけられる																			
目標4																			
目標5																			
目標6																			
目標7																			
目標8																			
目標9																			
目標10																			
授業の内容																			
1 天文学概要と観測手法																			
2 天文学の歩み																			
3 地球と月																			
4 太陽と太陽系惑星の性質																			
5 惑星の運動																			
6 小惑星と隕石																			
7 太陽系の形成																			
8 前半のまとめと中間試験																			
9 恒星の性質：距離、等級、光度、表面温度																			
10 恒星の進化：星の誕生から恒星の最期まで																			
11 様々な天体の性質																			
12 天の川銀河																			
13 銀河の分類と特徴																			
14 現代の宇宙論																			
15 元素の合成と輸送																			
ラーニング	A:知識の定着・確認	講義中に小テストや演習などで、その回のテーマに関する知識の定着を確認する。					工夫	その他の	Moodleを使用する。										
	B:意見の表現・交換																		
	C:応用志向																		
	D:知識の活用・創造																		
時間外学習の内容と時間の目安	準備学修	テキストや資料による予習(1.5h)																	
	事後学修	小テストなどによる復習(2h)																	
教科書	教科書は指定はしない。また、授業に使用する資料はMoodle上に公開する。																		
参考書	基礎からわかる天文学、半田利弘 著、誠文堂新光社、2011年 宇宙地球科学、佐藤文衛・綱川秀夫 著、講談社、2018年 宇宙科学入門(第二版)、尾崎洋二 著、東京大学出版会、2010年																		
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10							
	小テスト(毎回)	30%																	
	定期試験	70%																	
注意事項																			
備考																			
リンク	URL																		